

平成23年度当初予算 施策別概要

442 水資源の確保と効率的な 総合利用

44201 水資源の確保と有効利用

(政策部)

44202 水の安全・安定供給

(企業庁)

(主担当部：政策部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) いつでも安心して水を安定的に使用することができる

< 現状と課題 >

- 近年の水資源の状況は、異常気象の頻発や降水量の減少など気候が変化してきていることから、水源の供給能力の確保等にも大きな影響を受けることが懸念されています。また、水質面では、生活排水等による河川・湖沼の汚濁、富栄養化等の問題が生じているなど水資源をとりまく環境が大きく変化してきています。一方、県民からは、飲料水について、「安全・安心・安定」供給が求められています。
- 依然として残存している水道未普及地区の解消への取組、水源の汚濁対策に万全を期し、より安全な水の供給に向けた取組、渇水時や地震等の非常時においても、可能な限りその影響を最小に抑え安定して水を供給するための取組が必要となっています。さらに、県内人口が減少に転じており、水需要が横ばいもしくは微減傾向の状況の中、広域的、多面的な視点に立った水の利活用に取り組む必要があります。
- 水道事業については施設の更新時期を迎えるなどその経営環境は厳しさを増してきており、今後、需要者の要求に的確に 대응していくためには、より一層の経営の効率化を進めるなど基盤の強化に取り組む必要があります。

< 平成23年度の取組方向 >

長良川河口堰等の未利用水を有効利用するため、関係部局と連携し、需要開拓、利水安全度の向上等、多方面からの検討を進めていきます。また、水資源機構割賦負担金の負担軽減のため、繰上償還等の実施に向けて取り組みます。

川上ダムについては、伊賀地域の浸水被害の軽減と水道水源の確保のため、平成27年度の完成に向け関係機関と連携し対応していきます。

木曽川水系連絡導水路については、関係機関と連携をはかりながら事業の実施に向け調整していきます。

水資源の適正かつ合理的な利用をはかるため、水道事業者(市町等)の実情に応じて水道の広域的な施設整備を進めるとともに、水道未普及地域の解消に向け取り組みます。

市町等が実施する水道事業の円滑な運営をはかるため、技術指導等の支援を行います。

水道用水、工業用水の安定給水および効率的な事業運営をはかるため、既存施設の更新や改良工事を進めるとともに、耐震化工事などを計画的に実施します。

水道用水供給事業における技術管理業務の包括的な民間委託については、工業用水道事業の導入結果の検証を踏まえながら取組を進めます。

工業用水道事業については、需要拡大の取組を進めるとともに、企業誘致に伴う工業用水の

需要に対して迅速・的確に対応します。

< 主な事業 >

工業用水道事業会計出資金【基本事業名：44201 水資源の確保と有効利用】

(第 2 款 総務費 第 6 項 地域振興費 5 資源対策費)

予算額：(22) 1, 3 1 6, 0 7 8 千円 (23) 1, 2 1 1, 3 9 4 千円

事業概要：県勢振興のため先行的に確保した水源に係る償還金等について、一般会計から工業用水道事業会計に出資を行います。

水道設備改良事業【基本事業名：44202 水の安全・安定供給】

(第 1 款 資本的支出 第 1 項 建設改良費 1 業務設備及び改良費 他)

予算額：(22) 1, 9 8 0, 8 1 3 千円 (23) 1, 7 5 3, 8 5 6 千円

事業概要：水道用水の安定給水をはかるため、北中勢及び南勢志摩用水供給事業の既存設備の更新や改良を計画的に行います。

北伊勢工業用水道改良費【基本事業名：44202 水の安全・安定供給】

(第 1 款 資本的支出 第 1 項 建設改良費 1 業務設備及び改良費 他)

予算額：(22) 2, 6 7 9, 5 8 2 千円 (23) 2, 4 2 3, 8 6 7 千円

事業概要：工業用水を安定的に供給できる施設機能を維持するため、施設の更新や改良を計画的に行います。

工業用水道設備改良事業【基本事業名：44202 水の安全・安定供給】

(第 1 款 資本的支出 第 1 項 建設改良費 1 業務設備及び改良費 他)

予算額：(22) 2 1 6, 2 0 2 千円 (23) 2 9 0, 5 7 1 千円

事業概要：工業用水の安定給水をはかるため、多度、中伊勢及び松阪工業用水道事業の既存設備の更新や改良を計画的に行います。